

令和6年度 高山市立丹生川小学校 学校経営全体構想

《学校課題・願い》

- * 安全・安心な校風づくり
- * 自ら考え判断し、自分事として言動できる主体性
- * 自己肯定感の醸成
- * 基礎学力の確実な定着
- * 一人ひとりの違いを認め合う多様性の尊重
- * いじめ・不登校の未然防止と対応
- * ふるさと丹生川に愛着と誇りがもてる児童の育成

《高山市小中学校教育の方針と重点》

- ＜方針＞
郷土高山に根ざし、未来を切り開くための資質・能力を育む
- ＜重点＞
挑戦し続けるたくましさの育成
ワクワクするカリキュラム・マネジメント
～まず挑戦 すぐに 修正・改善～
- 『個と向き合う』
深い学びの実感・なりたい自分の実現・安心できる居場所

学校教育目標

『心身ともにたくましく 進んで実践する子 ～ やさしい子 かんがえる子 やりぬく子 ～』

【目指す学校】 「明日も来たくなる学校」「力をつける学校」

【育てたい資質・能力】

仲間と関わり合い、試行錯誤しながらあきらめずに挑戦する力

学習づくり

学ぶ楽しさや喜びを味わえる授業の創造
子ども一人一人の学びの成立

- 「主体的・対話的で深い学び」を生み出す授業改善 [R5 授業が楽しい 60%(92%)]
- ・ 学びに向かう力の育成（自分が学ぶ主体であるという自覚の促進・自己調整）
- ・ 教師の学びをコーディネートする力の向上（個別最適な学び・協働的な学び、一斉のみの授業からの脱却）
- ・ 自己を表出できる場面の工夫
- ・ 校内研修推進体制の充実（毎週水曜・研修主事）
- 確かな学力定着→ICT活用（NEW！GIFUウェブラーニング活用）、教科担任制
- 授業における生徒指導を大切にする
「自己存在感の感受の促進」「共感的な人間関係の育成」「自己決定の場の提供」「安全・安心な風土の醸成（居場所に配慮）」
- 特別支援教育の充実（全教職員の理解と支援体制）

【重点】
・ 子どもに投げかけ、考えさせる
・ 自己選択・自己決定の場

生活づくり

安全・安心を基盤とし、どの子にも居場所がある学校 [R5 学校が楽しい 68%(92%)]

- いじめを許さない風土づくり・不登校の未然防止
 - ・ 共感的な人間関係づくりの推進（人の痛みや思いに共感できる豊かな人間性・人権感覚の育成、心のケア、SOSの出し方、マイサポーター）
 - ・ 子ども同士で考えさせる指導や場の設定
- 魅力あるワクワクする活動を創造する
直接体験、縦割り活動・異学年交流の充実
- 「なりたい自分」の実現に向け、何度でも挑戦できるよう支援し、個と向き合い、見届けを行う
 - ・ 教職員だけでなく、仲間同士で認め、周りの仲間目に向けさせる指導
- 情報機器の依存防止・安全利用、眠育指導
- 命の教育（自分の命を自分で守る力）

★系統性を踏まえた「総合的な学習の時間」「生活科」の充実により、たくましさと郷土愛を育み、丹生川に愛着をもたせ、地域に貢献できる力を培う

★地域とともにある学校＝家庭・PTA・地域との連携指導

「学校運営協議会」「すくなく子教育連携会議」「まち協」「支所会議」「保小中連携」

◎小中連携：願いや課題、具体的指導の共有（管理職会・担当者会・合同全校研 等の開催）